











※記載例を参照の上、ご記入ください。


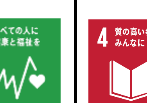




(様式第3号)

企業・団体名(マルモ百瀬商店株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営トップが積極的に雇用、教育、福利厚生などに関与し、従業員との情報共有と差別しない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			経営トップと従業員との面談において、情報共有と相談できる体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			継続的な労働時間の把握・指導と時間の調整を行うことで長時間労働の防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在、外国人労働者を雇用していません。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			店舗内外の不良箇所の改修、設備清掃等を従業員で分担し行うことで、安全意識を高めると共に労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			業務以外の内容も含めた個人面談を継続的に行い、職場定着に向けた取り組みを行っている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性も管理職として活躍している。多様な人材が活躍できる環境を整備することを目指している。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			本人の自主的に受講するセミナー・資格取得の費用と休業期間を保証している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働内容に沿った賃金設定をしている。福利厚生等は全従業員共通です。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			従業員が使用できるスポーツ器具を購入しました。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物は決められた場所に分別して保管し、処理業者に委託している。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			現在、自社でのエネルギー使用量(ガソリン・電気)は把握しているが、温室効果ガス排出量は算出していないので今後把握を行っていく。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			冷暖房の適正使用を徹底し温室効果ガス排出抑制に努めている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		現在使用していません。			3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																		
																																								
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した製品を利用することで、生物多様性保全に配慮している。							6.6								15																				
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			コピー用紙裏紙再利用を推進している。															12.5				14.1																
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			節水に努め、ポットや加湿器等の水の入れ替えは排水するのではなく可能な限り再利用を心掛けている。							6.4 6.6																												
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		環境マネジメント規格の取得はしていません。															12			13.3		14		15													
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【非該当】		開示するほどの取り組みをしていません。HPを持っていません。															12.6																				
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		該当する取り組みはありません。									7.2										13																
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			再生紙を利用している。																		12.2		13		14		15											
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、従業員浸透を図っている。																									16	16.5									
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しないことは勿論のこと不正競争行為禁止を従業員に周知している。																									16										
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			商標等知的財産の取得、管理を行っている。												8.2 8.3		9																					
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報の管理ルールを社内で周知徹底している。																											16								
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		現在取り扱っておりません。																											16								
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	取引先との対話を通じて、人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行う。								5						8					10				12		13		14	15	16	17					
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		良好な関係であるため、作成・公表していません。																								3				8	9	10					17

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																															
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			トレーサビリティの体制を構築している。				3.9									12.4												
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			仕入先厳選や顧客からのクレームが発生した場合など、不良報告をまとめ、社内で共有し再発防止に努めている。													9												
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】			現在、事業として製品の開発や設計は行っていません。														12	13	14	15							
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				生産者の高齢化、後継者不足を解消するため販路拡大と取引先への消費拡大。未成年者飲酒撲滅啓発活動に努めております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域のイベントには積極的に協賛し、地域の活性化に貢献している。また未成年者飲酒撲滅啓発活動に努めている。					4									9	11	12		14	15			17			
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域の催事への寄付や防災活動に参画している。					4										11				14	15			17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ				地域の農産物等を使用した商品の販売やSDGs登録生産者・業者との取引経済活動を行っている。														8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			経営理念を明文化し、社内でも共有している。														8	9								17		
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			社内会議において、法令順守(コンプライアンス)の重要性を周知している。																							16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本				責任者を配置、任命している。																							16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本				適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーに対する影響を把握し、具体的な内容に努めている。																							16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ				現状分析を行い、適切な対策を講じている。																							16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ				経営理念に基づき、社会的責任を自覚し業務に取り組んでいる。																							16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			【予定】	事業継続計画の策定。															9		11		13	13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			【予定】	次期後継者候補含め、これから検討します。															8	9							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定